

超急傾斜農地における農地維持に向けた取り組み

協定面積 12.3ha 協定参加者 20人

物部町 頓定集落

【集落の紹介】

頓定集落は、山間に作られた集落でその大部分が急傾斜地となっており、もともと狭い棚田の場所にユズを植え農地の維持管理しています。

また、物部でも最初にユズ栽培を始めた地域で、物部の柚ブランドを広めたことにより、柚栽培が盛んになりました。今では集落のほとんどの農家がユズを栽培しており、ユズ的一大産地となっています。

【集落の主な作物】

主にユズ栽培が中心ですが、稲、銀杏、ぜんまい、たらの芽など

【集落協定代表者より】

農業を続けていく上で道路の補修は不可欠なっているため、本交付金により農道等の整備・修繕を行い、大きな改修が必要な場所については計画的に修繕し、集落内でもコミュニケーションも取れている。

また、後継者も育ち、今後も農地の維持ができる環境となっている。

